平成３０年度　第１回四万十町人づくり委員会

【　次　第　】

１．開会

２．新委員紹介

３．新委員長あいさつ

４．議事

１）平成３０年度事業報告について

・未来塾（四万十町高校応援大作戦他）　…　Ｐ１ ～ Ｐ６

・四万十塾（イノベーター養成講座他）　…　Ｐ７ ～ P12

・産業振興塾（農業者ネットワーク他）　…　P13 ～ P16

２）その他

５．閉会

【　別添資料　】

・平成 30 年度人づくり委員会名簿　…　P17

・人づくり委員会設置要綱　…　P18

日時：平成 30 年 12 月 10 日（月）　14 時～16 時

場所：四万十町農村環境改善センター　大会議室

【未来塾】　～わがまち四万十町の未来を元気にする人財の育成～

１．四万十町高校応援大作戦　　［目標：地元入学者率　H27：34%→H31：60%］

まちの重要な人材育成の教育現場である町内高校の持続可能な魅力ある学校づくりと、生徒一人ひとりの希望進路の実現を応援し、社会で活躍することができる生徒をはぐくみ、地域の活性化につなげていく。

①町営塾「じゆうく。」の運営

- ➢ 事業主体　四万十町（運営委託：㈱FoundingBase＋高校魅力化支援隊）
- ➢ 対 象 者　窪川高校・四万十高校に在籍する生徒で通塾を希望する者
  四万十町教育支援センター通室生で通塾を希望する児童生徒等
- ➢ コ ー ス　学習コース・英語コース
- ➢ スタッフ　塾長１名
  - くぼかわ…団長１名＋支援隊２名
  - しまんと…団長１名＋支援隊２名　（スタッフ７名）
  - 両塾共通…英語アシスタント（町内講師１名）

②高校魅力化コーディネーターの配置

高校の特色ある教育活動の魅力をさらに進めるため、地域や行政とのパイプ役として配置する。

- ➢ 事業内容　窪川高校に魅力化支援隊２名を配置（広報、総合学習の支援、町営塾との連携等）

③通学助成事業

町内高校に通学する生徒の保護者負担の軽減と町内高校への進学の促進等を図る。

- ➢ 事業内容　定期乗車券の購入費の1/2補助。実質負担月額上限（町内）3,000円（町外）5,000円

④高等教育体験事業

高等教育機関への訪問や学生との交流を支援し、進学に対する動機づけを向上させる。

- ➢ 事業内容　大学オープンキャンパス参加、大学生との交流事業等

⑤高校生海外研修事業

異文化の環境で英語に親しみ、国際的な視野を広げ、様々なことに挑戦する意欲をはぐくむ。

- ➢ 事業内容　高校生10名、引率２名（予定：8月、カナダ、2週間）

⑥高校生就職フェアの開催

高校生の就職先の選択肢を広げるため、町内企業が自社の魅力を発信できる機会を提供する。

- ➢ 事業内容　就職希望の高校生と新卒者の採用予定がある町内企業の参加により企業説明会を開催。

⑦教育振興会支援事業

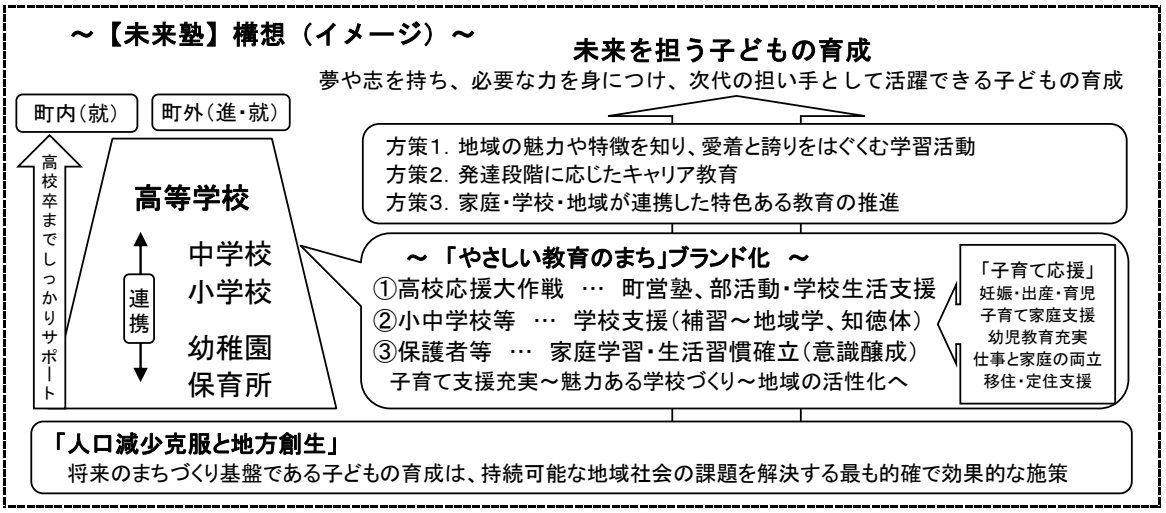
交流・研修事業、部活動及び寮運営費への助成を両教育振興会を通じて行い学校生活を応援する。

- ➢ 事業内容　窪川高校教育振興会補助金、四万十高校教育振興会補助金
  学力向上対策、町内外交流、部活動の専門指導員招聘、寮運営助成

２．小中学生等への支援

学力向上を柱に、児童生徒及び保護者への意欲醸成を図り、一人ひとりの夢・志を実現できる教育環境づくりを推進する。

- ➢ 事業内容　教育講演会（学ぶ意欲の醸成や多種多様な社会性を学ぶ機会提供）
  家庭内教育力の向上、スポーツ交流等（高知大学出前公開講座）
  中高連携等支援（補習・総合学習、部活動支援）



【未来塾】　～わがまち四万十町の未来を元気にする人財の育成～

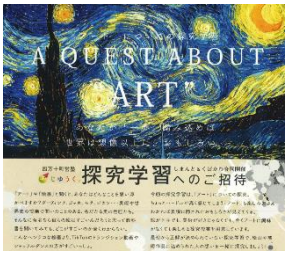
施策１　四万十町高校応援大作戦

町内高校の存続と魅力化を将来のまちの課題としてとらえ、地域や行政、関係機関との連携のもと効果的かつ持続可能な魅力ある学校づくりを目指す。

①　町営塾「じゆうく。」の運営	
概　要	町内高校の魅力化推進の柱として、生徒一人ひとりの希望進路の実現を応援するため、放課後の学び場を設定し、意志を持って主体的に行動できる生徒をはぐくむ。
実施状況	①事業内容　窪川高校生・四万十高校生の学力向上支援 教育支援センター通室生への支援 ②通塾生の状況（H30.4 月～9 月まで） ・通塾申請者数　くぼかわ教室　38 名/90 名中（うち定期通塾生 29 名） しまんと教室　19 名/50 名中（うち定期通塾生 14 名） 教育支援センター児童生徒　2 名

③学習指導等　＜学ぶ意欲・学ぶ力・学んだ力＞
・学習指導内容
個別面談…目標づくりと管理、個人カルテ作成、振り返り等
個別学習…計画づくり、オリジナル教材作成
そ の 他…学習塾機能強化、
自立型学習へのサポート
夏休み特別企画　など

・探究学習
各教室とも一月に１回実施＝学ぶ意欲喚起
（中学生向け体験会含む）



・中学生体験会（７・８・11 月）
「じゆうく。」の魅力ＰＲと学習意欲喚起

④高校との情報共有
月次報告会（通塾状況や学習状況等）
教員との情報共有（生徒情報等）

課題・方針等	◎ 定期的な通塾が少ない生徒への働きかけ（面談実施等） ◎ 通塾の為の制約解消（汽車や迎えの時刻、部活動・アルバイトとの兼合い） ◎ 高校への情報提供の迅速化、正確性の確立 ◎ 提供サービスのシンプル化と業務整理 ◎ 「自信をつける」伴走者としての役割重視 ◎ 高校魅力化の発信地となる広報活動の強化

【参考】平成 29 年度事業報告

1）業務実績

・開塾日数：203 日　…土曜日及び長期休業中は極端に少ない

・平均通塾生：くぼかわ 7.9 人、しまんと 5.8 人　…柔軟な変更を検討

2）塾のコンセプト

・３つのカリキュラム「学ぶ意欲」「学ぶ力」「学んだ力」

・育てたい生徒像の明確化…意志を持って主体的に行動できる生徒像

3）塾の運営全般

A 学習指導

・レベルに応じた個別指導を中心に、学校の課題や問題集を基本に指導

・９月から英語コース開設…英検取得を目指す

・計画シートの記述から学習開始、反省の記述に対しスタッフがコメント

B 面談指導

・定期テストごとに個別面談…自己理解のステップ

・面談シートによる目標づくりと生徒情報共有

C 探究学習

・好奇心から学ぶ意欲の醸成のため月２回開催（中学生体験会含む）

・毎回ほとんどの生徒がテーマへの関心を深めることができた

D 課外活動

・アートに触れるツアー（チームラボ、絵金蔵）

・ＡＬＴとの交流会（ハンバーガーづくり、お好み焼き）

・町内の素敵な大人に会いに行くツアー

・島根県立津和野高校生との交流会（２泊３日、８名参加）

4）高校との連携

・学校との月次報告会

・窪川高校１年生の総合的な学習時間サポート（計 17 回）

・大学オープンキャンパスツアー引率

5）個別学習状況と成果

・週１回以上の定期通塾生の基礎力診断テストの成績アップ（学年平均より）

・自分にもできるという自己肯定感から学習成果へのつながりできた

6）四万十町の教育事業への後押し

生徒それぞれの可能性を伸ばし、輝く一瞬をプロデュースできる環境と、既にある要素を有機的に機能させ、固定概念や枠組みに囚われない教育環境の構築を目指したい。

② 高校魅力化コーディネーターの配置	
概　要	高校の特色ある教育活動の魅力をさらに進めるため、地域や行政とのパイプ役のもと、多様性ある教育環境づくりと社会に開かれた学校づくりを推進する。
実施状況	窪川高等学校に「高校魅力化コーディネーター」２名を配置（H30.4 月より） ①進路指導関係 ・１年生の総合的な学習時間の企画及び授業サポート ・キャリア教育、進路相談のサポート等 ②総務関係 ・学校広報（広報誌・HP 等）、学校案内作成及び生徒募集支援 ・総合的な学習時間補助、課外活動サポート等 ③その他 ・行政、地域及び町営塾との連絡調整 （高校応援大作戦、学校行事等） ・学校の行事や会議等への参加による情報共有
課題・方針等	◎ コーディネーターの役割・機能・可能性の創出 ◎ 学校と地域の連携・協働の必要性や目標の共有づくり ◎ 学校内部（教員）の理解と中学校との連携分野検討

③ 通学助成事業	
概　要	町内高校に通学する生徒の保護者負担軽減と町内高校への進学促進等を図る。
実施状況	➢ 四万十町高等学校通学費助成金 公共交通の定期乗車券購入費の 1/2 補助。 ただし、町内月額 3,000 円及び町外月額 5,000 円を超える部分を全額補助 ※平成 30 年度より町外生徒も対象
課題・方針等	◎ 周知強化と事務処理の簡素化

④ 高等教育体験事業	
概　要	高等教育機関への訪問や学生交流を支援し進学に対する動機づけを向上させる。
実施状況	①大学オープンキャンパスへのバスツアー （訪問大学） 高知大学・高知工科大学・高知県立大学・高知学園短期大学 （参加延べ人数） 窪川高校１名、四万十高校 14 名　…　窪川高校の参加者が激減 ②高知大学との部活動交流 5/26　四万十高校と十川中学校バレー部員が高知大学にて合同練習を通じて交流
課題・方針等	◎ 進路への意識付けの観点から、高校 1・2 年生への参加呼びかけを継続 ◎ 高校と大学との日程調整（交流事業）

⑤　高校生海外研修事業	
概　要	異文化の環境で英語に親しみ、国際的な視野を広げるとともに、ふるさとに愛着と誇りを持ち、様々なことに挑戦する意欲をはぐくむ。
実施状況	平成 30 年度四万十町高校生海外研修 ※別添「カナダ・カルガリー研修告書」参照 （目的） カナダ現地を通して、新しいこと少し難しいことに自らチャレンジする。 ・アウトプット中心の英語クラスで自信をつける ・現地のイベントに参加し、英語で四万十町を発信 ・バディとの交流でコミュニケーション力を養う （経過・スケジュール） H29.10　事前企画の提案・見積徴収 H29.11　アンケート実施、事業実施計画案作成 H30.１　指名型プロポーザル実施（３社⇒㈱ISA 関西支社に決定） H30.４　生徒募集、業者との打ち合わせ H30.５　生徒 11 名決定、説明会 ～　７　オリエンテーション、事前学習等 H30.８　カナダ・カルガリー研修実施（8/6～8/20） ～　９　事後研修・振り返り（レポート等作成） H30.10　研修報告会開催（10/3）、報告書作成 （成果と改善点） ・語学力、挑戦意欲を目指したアウトプットに慣れるための事前学習 …目的・挑戦内容の明確化 ・生徒全員の満足（達成）感による内面変化 ・小さな挑戦と成功体験による内面進化　…スタッフのきめ細かなサポート
課題・方針等	◎ これからの学びにどのようにつなげていくか ◎ 英語力向上だけではく、キャリア教育への研修内容の工夫検討 ◎ 生徒の内面的な変化を狙いとしているため費用対効果の判断基準

⑥　高校生就職フェア	
概　要	高校生の就職先の選択肢を広げ将来を考える機会と、町内企業が自社の魅力発信ができる機会を提供する。
実施状況	（事業内容） 新卒者の採用予定等のある町内企業のＰＲや面談等を通じて、職種や業務内容を知り、職業観や勤労観をはぐくむキャリア教育につなげていく。 （実施予定） ・日　　時　平成 31 年３月 13 日（水）13:00～16:00 ・会　　場　窪川四万十会館 ・参加生徒　窪川高校及び四万十高校の１・２年生 ・参加企業　町内約 20 事業所
課題・方針等	◎ 高校側の教育活動や希望業種などの要望と参加希望企業との調整 ◎ 参加企業数の制限とタイムスケジュールの工夫

⑦　教育振興会支援事業	
概要	町内外の交流や研修事業、部活動及び寮運営費について両教育振興会を通じて助成を行い、保護者負担の軽減と学校生活の活性化を図る。
実施状況	①事業内容(H30 当初予算：単位 4,863 千円) 窪川高校教育振興会補助金　(予算：1,600 千円) スタディサプリ利用料、学校管理バス、町内外交流に係る移動経費等 四万十高校教育振興会補助金　(予算：3,263 千円) 交流・研修事業等一般事業、部活動・専門指導員招聘事業、寮運営費補助
課題・方針等	◎ 振興会事務局（高校）の負担 ◎ 実績評価基準の設定と学校関係者への周知

施策２　小中学生等への支援

学力向上を柱に、児童生徒及び保護者への意欲醸成を図り、一人ひとりの夢・志を実現できる教育環境づくりを推進する。

実施状況	**① 教育講演会** 「学力向上への意欲喚起」と「将来の目標づくり」などを考えるきっかけづくりを目的として開催。(教育委員会と共催) (実施予定) ・日　時　　平成 30 年 12 月 18 日（火） ・会　場　　窪川四万十会館 ・内　容　　「将来の進路の選び方」 ・講　師　　山内　太地　氏（一般社団法人大学イノベーション研究所長） ・参加者 町内高校の１・２年生、町内中学生（主に３年生）、保護者、一般 **② 家庭内教育力の向上・スポーツ交流等** （事業内容）　高知大学出前公開講座（後掲） 高知大学とのスポーツ交流（後掲） **③ その他** 「主体性を育む」教育セミナー（「じゆうく。」特別企画） 日　時　平成 30 年 10 月 26 日（金）18:00～20:00　教育講演会 10 月 27 日（土）14:00～18:00　ワークショップ 会　場　本庁東庁舎１階多目的大ホール 講　師　NPO 法人キーパーソン 21　代表理事　朝山あつこ氏
課題・方針等	◎ 町教育方針（ビジョン）における課題整理と目標設定 ◎ 保幼・小・中・高の連携すべき分野抽出と体系的な計画づくり ◎ 地域教育の魅力づくりと全体のコーディネート

【四万十塾】　～わがまち四万十町の地域を元気にする人財の育成～

1．地域イノベーター育成事業　　［目標：地域イノベーター数　H31：20人］

※平成29年度認定者　7人

地域の活性化や地域課題解決に挑戦する人材や、地域に対する想いのある人材に対して、必要な知識・技術の習得を支援するとともに、地域で挑戦し続ける人材を地域イノベーターとして認定し、自分の想い（プラン）を実行する人材を育成する。

- ➢ 事業内容　課題解決や体験型を含む主体的かつ協働的な連続講座である地域イノベーター養成講座の開催
- ➢ 事業主体　四万十町（運営委託：高知大学）
- ➢ 対 象 者　四万十町内の活性化に寄与する意思のある者
- ➢ 受 講 料　8,000円（町外在住者は16,000円）
- ➢ 受講期間　6月～12月までの間（年6講座程度）

※「地域イノベーター」修了・認定　（ネットワーク形成：情報共有、政策提案、活動の場）

2．四万十ビジネスプランコンテスト事業　　［目標：事業プランの実施　H31：5件］

四万十町で地域課題の解決に向けて取り組む人材や、町内で創業を目指す人材を発掘・誘致することにより、地域の活性化と産業等の振興を図る。また、当該事業を実施することにより、Ｕ・Ｉターンへの足がかりや、町内に様々な活動に対して挑戦する風土を作ることを目的とする。

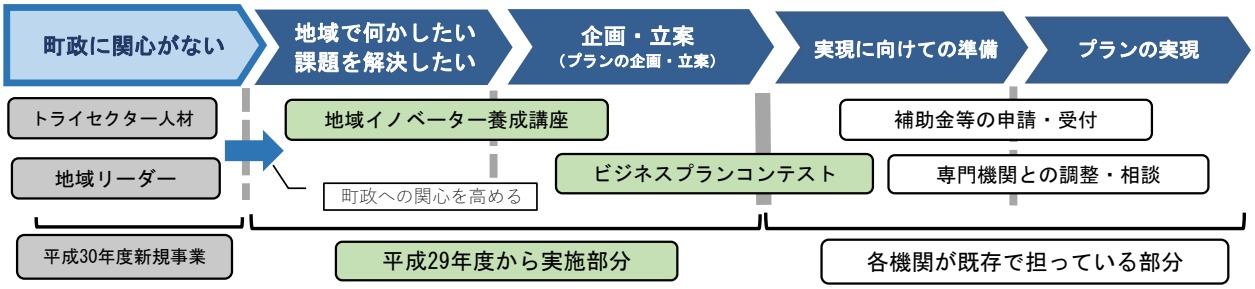
- ➢ 事業内容　町の活性化や地域課題解決に繋がるアイデアやサービス、町内の資源を活用したアイデアやサービスをテーマとしたビジネスプランコンテストの開催
- ➢ 事業主体　四万十町（一部委託）
- ➢ 対 象 者　町内の地域課題解決に向けて取り組む者、又は町内での創業を希望する者やそのプランを有する者。
- ➢ 開催時期　11月～2月頃（ただし、応募プランの精査等を行う期間を設ける。）
- ➢ 賞　　金　大賞受賞者に、活動資金として100万円（上限）　※商工業振興助成金として
- ➢ 協力機関　高知大学、四万十町商工会、町内の金融機関　等
- ➢ 備　　考　当該事業は、地域課題解決や創業を目指す人材の発掘・誘致、Ｕ・Ｉターンのきっかけ等が目的であり、大賞受賞者や応募者等に対する具体的な支援は、専門機関（商工会・金融機関等）からの協力も得て行う。

3．四万十トライセクター人材育成事業　　［目標：他の人材育成事業受講者数　H31：延べ20人］

町内の活性化や課題解決に比較的関心のない人材や、新たな学びを望んでいる人材に対し、地域振興等を基本としつつ、様々な活動に対する知見を提供する事により、町政や人材育成事業等への関心を高め、「地域」「民間」「行政」の垣根を超えて、地域の活性化に挑戦する人材（トライセクター）の育成や発掘等を目的とする。

- ➢ 事業内容　① トライセクター人材育成事業（様々な学びを提供する講座等の開催）
  ② 地域リーダー養成事業（活性化を目的とした講演会等の開催）
- ➢ 事業主体　四万十町（一部委託）
- ➢ 対 象 者　町内で新たな学びの場を望んでいる人材　等
- ➢ 開催期間　7月～2月頃までの間

（事業フェーズ）　※関係機関や既存事業との相関図



（スケジュール）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
イノベーター	▼受講生の募集→		▼デモ講座	▼講座の開設（6月～12月の間で、6回程度実施）→								
ビジネスコンテスト					▼プランの募集→		▼プランの精査・磨き上げ→			▼最終審査会		
トライセクター			▼トライセクター・地域リーダー養成・異業種交流事業の開催→									

【四 万 十 塾 】 わがまち四万十町の地域を元気にする人財の育成

施策１　地域イノベーター養成講座	
概要	「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」等々、そういった想いを持った方々が地域の活性化や課題解決をジブンゴトとして捉え、チャレンジし続ける人材を育成する。
実施状況	■ 地域イノベーター養成講座 委託先：高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室（須藤　順 講師） 受講生：１５名（うち３名がオープン参加の高校生） 〔オープンフォーラム〕開催日：平成 30 年 5 月 27 日（日） 会　場：古民家カフェ「半平」　　来場者：46 名 講　師：㈱和える　代表取締役　矢島　里香 〔第 1 回目〕開催日：平成 30 年 6 月 25 日（日） 会　場：四万十町役場本庁東庁舎 1 階多目的ホール 〔第 2 回目〕開催日：平成 30 年 7 月 15 日（日） 会　場：四万十町役場十和地域振興局 2 階ホール

〔第 3 回目〕開催日：平成 29 年 8 月 5 日（日）

会　場：きらら大正

〔第 4 回目〕開催日：平成 30 年 10 月 21 日（日）

会　場：岩本寺

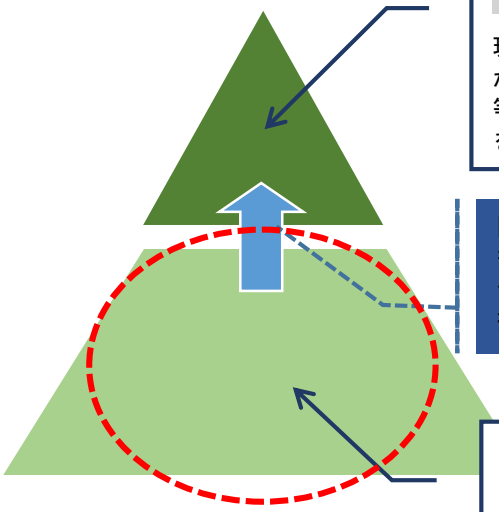
〔第 5 回目〕開催日：平成 30 年 11 月 18 日（日）

会　場：オートキャンプ場ウエル花夢

課題・方針等	＜ 方　針 ＞ 　地域イノベ―ター養成講座は、誰かが知識や方法論を教えるのではなく、受講生一人ひとりと大学生メンターが一緒にマイプロジェクトを進め、喜びや悩み、想いを共有しながら一歩ずつ前に進んでいくことを目指す。 ＜ 課　題 ＞ ●長期的な講座となるため、受講生の気持ちを切らせないような仕掛けが必要。 ●講座運営を行う委託先の検討。 ●講座終了後に、個々が行動に移すための仕掛けが必要。

施策２　四万十ビジネスプランコンテスト	
概要	町内の活性化や地域課題をジブンゴトとして捉え「チャレンジする人材」への支援として開催する。当コンテストは、町内で新しいビジネスや事業、その他四万十町を元気にする取り組みを行いたいと考えている方のプランを一つでも実現するために開催する。
実施状況	■ 四万十ビジネスプランコンテスト 〇募集プラン　四万十町の活性化や地域課題解決に繋がるアイデアやサービス 四万十町の資源を活用したアイデアやサービス 〇大賞　１名 〇賞金　活動資金として１００万円（予定） 〇応募条件　自らのプランに本気で取り組むという情熱のある方 〇主催　四万十町 〇共催　高知県、四万十町商工会、高知大学、高知銀行、四国銀行 〇スケジュール
課題・方針等	＜ 方　針 ＞ 町内で新たな活動を生み出すきっかけとなり、一人でも自分のプラン（夢）を実現できる町になるような取り組みとする。 ＜ 課　題 ＞ ●応募者の確保、応募プランを実現するための支援体制の構築

施策３　トライセクター人材育成事業	
概要	町内の活性化や課題解決に比較的関心のない人材や、新たな学びを望んでいる人材に対し、様々な知見を提供する事により、町政等への関心を高め、「地域」「民間」「行政」の垣根を超えて、地域の活性化に挑戦する人材（トライセクター）の育成や発掘等行う。

実施状況	■ トライセクター人材育成事業 様々な講座等への参加を促し、「学ぶ事」への関心を高め、その他の人材育成事業への参加するきっかけとして開催している。 ≪開催している講座≫
課題・方針等	＜ 方　針 ＞ 今まで行政が展開してこなかった講座等を開設する事により、新たな層（人材）の掘り起こしを図る。 ＜ 課　題 ＞ ●講座内容（コンテンツ）等の充実や、他の人材育成事業との連携。  〔町の施策に関心のある層〕 現在の四万十塾等の受講者は、この層の方が多い。ただし、この層の方々は町が講座等を提供しなくても、自らが進んで研修等を受講する傾向にある。 関心のない層が、参加しやすいような講座等を提供し、少しでも町政に関心を持ち、今後主体的に活動する人材となるような仕掛けが必要。 〔人材育成等の施策に余り関心のない層〕 町政等にあまり関心がない層。人口減少が続く本町においては、人材育成事業等を通じて、この層の方々が、自ら進んで関心を持つようになれば、地域を支える人材の育成や確保が図られる。 **【トライセクター事業の対象となる層】**

施策３　高知大学連携事業	
概要	高知大学とは、①人材の育成に関すること・②高知大学の教育及び研究に関すること・③高知大学に在学する学生の地域学習及び研究機会の拡大に関すること・④四万十町の計画などに関すること等を、具体的かつ実践的に取り組む事を目的に、平成 27 年 3 月に連携協定を締結している。現在は、その協定に基づき、町民を対象とした講座や講習会の開設、地場産品等の研究等を協働で推進している。
実施状況	■ 高知大学出前公開講座 高知大学の教員等が地域に出向き行う講座で、本町では「子育て世代」をターゲットとした取組みを行っている。 ◎平成 30 年度高知大学出前公開講座 in 四万十町 〔第 1 回〕「土の事、知っちゅう？」 高知大学　学長　櫻井　克年　先生 ＜日時＞10 月 2 日（火）17 時～18 時 30 分 ＜会場＞ＪＡ四万十・中ホール ～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・ ■ スポーツ交流事業 高知大学等の運動部と連携し、町内の中学生・高校生の競技レベルの向上と高等教育機関等への関心を深めることを目的に実施している。
課題・方針等	＜ 方　針 ＞ 高知大学等と連携することにより、高等教育機関の知見を活用した各種施策の推進と、町内の子ども達に進学等への関心をより一層深めていく。併せて県外出身者が多い学生に対し、これらの活動を通じて、四万十町のファンとなるきっかけの場とする。 ＜ 課　題 ＞ ●大学との継続的な関係性の保持、事業の受け皿となる庁内組織の確保。

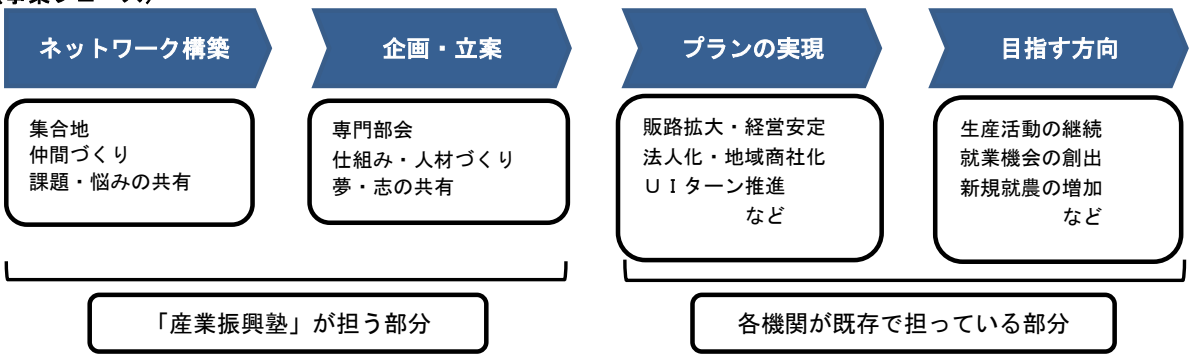
【産業振興塾】　～わがまち四万十町の産業を元気にする人財の育成～

１．暮らし・産業承継人材創出事業　　［目標：専門部会数　H31：3部会］

中山間地域の暮らしや産業を守り、次世代へと引き継いでいくため、若い農業者を対象に、仲間づくりと地域産業の新たな仕組みづくりを主体的に学ぶ場を提供することにより、地域産業の担い手、地域リーダーを創出する。

➢ 事業内容　①農業者ネットワーク会議の企画運営
◆農業経営に関する情報交換会やテーマ別勉強会、専門講師による講演会等を開催。
②専門部会の活動支援
◆テーマ別の専門部会において、農業者自ら主体的に取り組む実践プランを支援。
➢ 対 象 者　地域産業の後継者や将来の地域リーダーとして期待される者

（事業フェーズ）



２．人材育成情報発信事業　　［目標：ユーザー登録数　H31：20社］

産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対して、国・県・町などが開催するセミナーや研修会、人材育成に係る補助金や支援制度などの情報を一元化し発信することで、町内事業者等のセミナー参加や人材育成（社員教育）を支援する。

➢ 事業内容　（発信情報）町などが開催するセミナー等の情報、人材育成に関する支援制度等
（発信方法）ＨＰ、メール、ＳＮＳ
（収 集 先）経済産業省（中小企業庁）、高知県、高知県産業振興センター
高知大学、土佐ＦＢＣ、四万十町商工会　　ほか

３．町内事業者人材育成支援事業　　［目標：社員研修受講者数　H31：30人］

産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対し、社員教育の重要性について啓蒙するとともに、人材育成計画等の策定や中核人材の育成・確保に向けた取組みを支援する。

①経営者向けセミナー等の開催
➢ 事業内容　「採用力の向上」や「従業員が成果を出す教え方」など、経営者の動機付けを目的としたセミナーを開催し、人材育成計画等の策定に着手する事業者を募る。
➢ 対 象 者　町内の事業所の経営者層
➢ 実施回数　３回程度／年

②専門家個別相談
➢ 事業内容　町商工会との連携により、人材育成や人材確保等に関する個別相談会を実施する。
➢ 実施回数　経営者向けセミナーとセットで３回程度／年

③社員向け研修等の開催
➢ 事業内容　社会人として必要なビジネスマナーやコミュニケーション力に関する研修
➢ 対 象 者　町内の事業所に勤務する新入社員及び入社３年程度の方
➢ 実施回数　２回／年

（スケジュール）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
農業者ネットワーク	全体会議①▼			視察研修▼				全体会議②▼			全体会議③▼	
	専門部会活動 →											
経営者セミナー等			セミナー①▼			セミナー②▼			セミナー③▼			
社員向け研修		初回研修▼		フォロー研修▼								

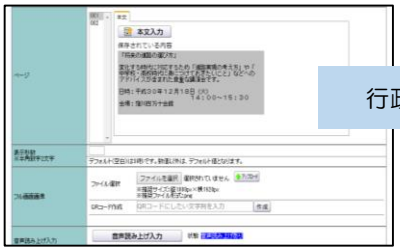
【産業振興塾】　～わがまち四万十町の産業を元気にする人財の育成～

施策１　暮らし・産業継承人材創出事業	
概要	中山間地域の暮らしや産業を守り、次世代へと引き継いでいくため、若い農業者を対象に、仲間づくりと地域産業の新たな仕組みづくりを主体的に学ぶ場を提供することにより、地域産業の担い手、地域リーダーを創出する。
実施状況	➢　**農業者ネットワーク　（“人と人、人と地域をつなぎ、現在と未来をつなぐ”）** 参加者：35 名 内訳　※①地区別 ／ 郷分 9, 立西 2, 松葉川 7, 仁井田 4, 東又 4, 志和 1, 興津 2, 大正 3, 十和 3 ※②類型別 ／ 生姜 12, 施設園芸 9, 有機 4, 花卉 3, 畜産 2, 露地野菜 2, 椎茸 1, 法人等 2 【第１回　農業者ネットワーク会】 開催日時：平成 30 年 7 月 26 日（木）　13：30～15：30 内　　容：昨年度の振り返り、本年度の活動計画（案）、専門部会に関する提案 **『物流・販売部会』** **今年度目標：青果の流通構造を理解する研修会　ほか** **『生姜部会』** **今年度目標：病害対策に関する勉強会　ほか** 【第１回　農業者ＮＷ専門部会】 開催日時：平成 30 年 9 月 3 日（月）　13：30～16：45

物流・販売部会	生姜部会
１．地域商社設立に向けて ２．アグリフードＥＸＰＯ大阪２０１９ ３．高知市中央卸売市場（青果）視察研修 ４．四万十町農業者ＮＷ研修事業	１．土壌病害対策（低濃度エタノール利用） ２．地域ＩｏＴ実証推進事業 ３．ＮＷ会員からのご提案 ①　肥料設計の専門家の招聘 ②　輪作作物について

【視察研修】
研修日時：平成 30 年 10 月 5 日（金）　10：00～11：40
研修場所：高知市中央卸売市場（高知市弘化台 12 番 12 号）
株式会社高知青果市場、株式会社中村青果、くだものの山長
内　　容：市場概要の説明、意見交換

課題・方針等	◎　「農業者ＮＷに期待すること」を全体会のテーマや専門部会の企画等に反映 ◎　専門部会の事業目標設定、関係者間の相互調整及び具体的活動の実践 ◎　事例を一つひとつ積み上げていく地道な活動を展開し、農業者ＮＷの取組みの浸透と定着を図っていく。

施策２　人材育成情報発信事業	
概要	産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対して、国・県・町などが開催するセミナーや研修会、人材育成に係る補助金などの情報を一元化し発信することで、町内事業者等のセミナー参加や人材育成（社員教育）を支援する。
実施状況	➢　「人材育成推進センターHP」をリニューアル ➢　四万十町役場公式ページ Facebook に投稿（随時） 高知大学学長講演会 海外研修報告会 ➢　情報発信の一例 配布チラシ 行政文字放送  Facebook
課題・方針等	◎　発信する情報の充実化（セミナー等の情報収集・掲載承諾など） ◎　発信方法の工夫（関心をもって読んでいただける文章、デザイン構成など） ◎　双方向の情報のやりとり（情報共有） ◎　継続した取組みの展開

施策３　町内事業者人材育成支援事業	
概要	産業人材育成のため、四万十町内の事業者等に対し、社員教育の重要性について啓蒙するとともに、社員教育や人材育成計画等の策定を支援する。
実施状況	**①経営者セミナーの開催　（共催　四万十町商工会）** 講師：吉井裕之氏（高知県移住促進・人材確保センター／中小企業診断士） 備考：「個別相談会」→「社員研修促進事業費補助金」 【第１回】開催日：平成 30 年 6 月 28 日（木） テーマ：『 会社を強くする 4 つのステップ（前半） 』 受講者：9 事業所　9 名 【第２回】開催日：平成 30 年 9 月 25 日（火） テーマ：『 会社を強くする 4 つのステップ 』（後半） 受講者：6 事業所　6 名 【第３回】開催日：平成 30 年 12 月 17 日（月）予定 女性活躍応援セミナー テーマ：『楽しみながら成果を出す』（考え方・心の整え方） **②新入社員・若手社員合同研修の開催　（共催　四万十町商工会）** 講師：吉井裕之氏（高知県移住促進・人材確保センター／中小企業診断士） 【第１回】開催日：平成 30 年 6 月 29 日（金） テーマ：『 論理的思考を身につける はじめの一歩 』 受講者：4 事業所　4 名　／　町役場新採職員　16 名　　計 20 名
課題・方針等	◎　次年度の事業企画の立案（テーマ設定、講師選定、受講対象者　ほか） ◎　本事業の継続性の確保（関係機関・外部講師との緊密な連携、意思疎通） ◎　事業成果の検証方法・判断基準の具体化

「四万十町人づくり委員会」委員名簿

	所属	役職等	氏名	備考
1	四万十町商工会	青年部部長	佐竹　孝太	要綱第3条２（１）
2	PTA	町Ｐ連会長	武田　伸也	要綱第3条２（２）
3	小中学校	窪川小学校校長	川添　節子	〃
4	高等学校	窪川高校校長	田邉　法人	〃
5	高知大学	地域コーディネーター	岡村　健志	要綱第3条２（３）
6	公募委員		吉本　悦子	要綱第3条２（４）
7	公募委員		新井みなみ	〃
8	高知銀行窪川支店	支店長	門舛　俊也	要綱第3条２（５）
9	四万十町商工会	経営指導員	岡田　光司	〃
10	四万十町観光協会	事務局	松岡千津恵	〃
11	㈱エコロギー四万十	企画・営業	小野川貴江	〃
12	㈱四万十ドラマ	道の駅駅長	中野　千里	〃

○四万十町人づくり委員会設置要綱

（設置）

第１条　四万十町の目指すべき将来像の実現に向け、地域の持つ力や可能性を生かした自主自立のまちづくりを進めていくために必要となる地域や産業を支える人材の育成について、中長期的な視点に立ち、目指すべき方向やその方策等を定めるため、四万十町人づくり委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

（１）　人材育成にかかる基本方針及び計画の策定に関すること。

（２）　その他人材育成にかかる計画に関すること。

（組織）

第３条　委員会は、委員２０名以内で組織する。

２　委員は、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

（１）　町内で産業を営む者

（２）　教育関係者

（３）　学識経験者

（４）　公募による者

（５）　その他町長が必要と認める者

（委員の任期）

第４条　委員の任期は２年とし、再任は妨げない。

２　補欠の委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第５条　委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

２　委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

３　副委員長は、委員長を補佐し、事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第６条　委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

２　会議は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

（事務局）

第７条　委員会の事務局は、四万十町人材育成推進センターに置く。

（委任）

第８条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は委員長が委員会に諮り定める。

附　則

この告示は、公布の日から施行し、平成27年７月１日から適用する。

附　則

この告示は、公布の日から施行し、平成29年４月１日から適用する。